



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社Kaizen Platform
代表者名 代表取締役執行役員 CEO 須藤 憲司
(コード: 4170、東証グロース)
問合せ先 執行役員 朝井 秀尚
(ir@kaizenplatform.com)

通期業績予想と実績の差異、及び営業外収益の計上に関するお知らせ

2023年11月13日に公表しました2023年12月期(2023年1月1日~2023年12月31日)の連結業績予想と実績に下記の通り差異が生じました。また、2023年12月期において、下記の通り営業外収益を計上いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2023年12月期の連結業績予想数値と実績の差異(2023年1月1日~2023年12月31日)

単位: 百万円

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益 又は経常損失(△)	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は純 損失(△)	1株当たり 当期純利益又 は純損失(△)
前回発表予想 (A)	4,200	200	△60	△60	△85	△5円05銭
実績 (B)	4,343	239	△25	11	△21	△1円29銭
増減額 (B-A)	143	39	34	71	63	3円76銭
増減率 (%)	3.4	19.6	-	-	-	-
(参考)前期実績 (2022年12月期)	2,667	158	△102	△127	△285	△17円23銭

2. 差異の理由

グロースセグメント、トランスフォーメーションセグメント共に、当社において新規獲得や既存顧客の継続受注とトータル提案による顧客単価向上に努めた結果、前回発表時点の想定よりも順調に受注獲得が進捗いたしました。また、動画制作を中心とした集客領域(旧動画セグメント)の戦略転換も、第4四半期までに一定の目処がついたことにより、売上高は4,343百万円と前回発表予想を上回りました。

営業利益については、売上高が上記の通り前回発表予想を上回るとともに、当社において、コストコントロールを適切に実行した結果、前回発表予想を上回る△25百万円となりました。

経常利益については、受取利息30百万円や保険解約返戻金27百万円の計上により、前回発表予想を上回る11百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純損失については、主に上記記載の売上高、営業利益、経常利益の差異により、前回発表予想を上回る△21百万円となりました。

3. 営業外収益の内容

当社のドル建て定期預金の受取利息30百万円と、子会社である(株)ディーゼロにおける保険解約返戻金27百万円を、2023年12月期第4四半期累計期間におきまして、営業外収益に計上いたしました。

以上